日本キャリア教育学会

令和3年度第3回研究推進委員会企画講習会実施報告

共催 研究推進委員会, 中部地区部会

第3回研究推進委員会企画講習会の報告です。

2021年10月31日(日)13:00~16:00、オンラインによる令和3年度第3回研究推進委員会企画講習会を研究推進委員会,中部地区部会の共催で開催しました。今回は,学会誌編集委員会委員長の浦上昌則(南山大学)をお招きし,「論文を読もう,研究を理解しよう ーコツは「研究」を知ることにあり一」というテーマでお話いただきました。講習会当日は,衆議院議員選挙とブッキングという日程での開催でしたが,41名(話題提供者・コーディネーター含)の方にご参加いただき大盛況の講習会となりました。

講習会参加者のアンケートには、今回の研修について「研究とはどのようなものなのか、 基本から丁寧に教えていただくことができ、書いていくために抑えるポイントを理解でき た気がします。ここから実践に移していけるのかは自身の課題だなとも思いますが、改めて 基本をまなぶことができてよかったです。」「科学的研究に必要な基本要素の再確認ととも に、文献研究のあり方もご教授いただけたこと、今後の研究に向かう姿勢を手に入れること ができ、感謝いたします。」「論文の型を理解し、接続詞で予測を立てて読み進めると、とて もわかりやすいですね。また、『示唆する』などの使い方を整理することができました。実 は『もう少し言い切った方がいいかな・・。』『言いすぎかな』などと、これまで迷いながら 書いていることがありました。論理的な書き方をご教授くださり、ありがとうございまし た。」「研究を成立させるためには何が必要なのか、根本的なことを学ぶことができました。 また、論文の型の要素ごとに、すべきこととすべきでないことが具体的に解説され、とても 有益でした。さらに、杉本先生の論文を素材に、論文の構造や論の進め方を、文字通り実物 を通して学ぶことができました。このような授業を、学部時代や遅くとも修士時代に受けて おけばよかったと感じますが、今からでも大きな学びにさせていただきます。個人的には、 最高の研修会でした。」「型に関する話題と、ちょっとした査読の裏話です。かゆいところに 手が届くと申しますか、漠然と感じていた論文に対する不安を見事に解消する内容でした。 他の学会の似たような研修にも参加しましたが、これほどシステマティックに説明してい るものはありませんでした。」「論文執筆にあたって、これまで論文を書かなければいけない けれど、何から手をつければいいかわからなくなってしまう時があったが、今回の講習で論 文執筆にあたってのルールが明確になったため、論文執筆に対する悩みが明確になり、役に 立った。」「研究者として研究指導者として査読者として何年もかけて培ってきたことを惜 しげもなく共有してくださった点。先生の研究指導を受けなければ聞けないようなことを 聞いているんだなとありがたみを感じながら受講しました。参考論文の著者の先生も出席 されて、そのコメントから更に実際の論文執筆時の考え方、作業、査読者からのコメントを 受けての修正の実際の様子がよく分かった点も良かったです。」「内容構成、レベル設定を学 生向けと研究者向けの間のような感じでしてくださっていて、適切だったと思います。」「論 文を読む視点や書くときの注意点を知ることができました。まず「目的」を読み次に「結果」 を読むようにすると、大筋を掴むことができました。それでどのようなプロセスでその結果 が得られたのかを見ていくと、論文を読むことが、楽になってきました。今回の視点を活用 して今後も論文を読んでいきたいです。」といった感想が多くあり、多くの方が高い評価を してくださいました。

また、今後の講習会・研修会について「前回の若松先生に引き続き、浦上先生のお話を聴

くことができて、論文について少しずつ理解できてきているように感じます。こうした内容を継続しつつ、一方で少し演習が入った内容も入れていただけると、さらにどう書いていくのか理解できるかなと感じました。今後ともこの方向での研修を続けていただけるとありがたいです。」「今回のように具体的に論文をとりあげ(予習ができる)、それを検討するという流れでやってほしい。」「今回の続編として、別の論文を取り上げたり、特定のポイントに焦点を置いて掘り下げるような研修を、浦上先生にぜひお願いしたいです。このような質の高い研修を受けられるだけで、キャリア教育学会に入会している意義があります。もし外部でこれだけの水準の研修を見つけることは難しいと思います。」「研究の『方法』について、尺度や分析方法の取捨選択など詳しく学びたいと思いました。」「前回、今回とどちらもとても濃い内容で、本当に稀有な機会を作っていただいていると思います。今回の会の最後に少し話に出た、今出ている論文から次にやるべき、やられるべき研究を考えるセッション(事前に題材を与え、参加者が読んで参加)をしてくださったら、ぜひ聞いてみたいと思いました。」といったリクエストをいただき,今後の研究推進委員会企画講演会を検討する上で、多くの示唆をいただきました。

皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

研究推進委員会委員長 山田智之